

保 健 体 育

第1節 概 要

第2次福島県長期総合教育計画及び第2期実施計画に基づき、保健体育課においては、重点施策の一つである「健康と体力の向上をめざす社会体育の推進」を中心として、体育、保健、安全、給食の各分野において相互に連携を密にしながらか各施策の推進を図った。その概要は次のとおりである。

1 学校体育の充実

学校体育担当教員の資質の向上と、児童・生徒の体力の向上を目指して、各種体育実技講習会を開催するとともに、文部省指定の「体力づくり推進校」「格技指導推進校」・県教委指定「体力づくり研究推進校」の実践研究及び公開発表、並びに学校体育指導の手引き(小学校総則編)の発刊等、指導資料の作成、提供に努めた。

スポーツテストについては、小学校低・中学年を含め、全県下全児童・生徒について実施し、運動能力・体力の実態把握に努めた。また、本年度は中学校においては新指導要領が完全実施され、小学校では二次年を迎え教育課程運営改善講習会を各教育事務所ごと開催するなど小・中学校ともにその趣旨徹底を図った。高等学校では、昭和57年度実施(学年進行)にむけて、移行最終年度として講習会を開催し、その趣旨徹底に努めた。

2 学校保健の振興

学校における保健教育、保健管理の充実を図るために学校保健関係教員を対象として、保健主事講習会(県内2地区)、保健安全指導者資質向上講習会(県内2地区)、児童・生徒疾病異常対策研修会(県内2地区)、新採用養護教員研修会(県教育センター)、養護教員経験研修会(県教育センター)を開催し、資質の向上に努めた。

また、教職員、児童・生徒の健康管理に努めるとともに学校保健委員会の設置促進と活動の活発化を図り、学校保健の充実に当たった。特に昭和55年度から県立学校教職員の健康診断における成人病関係検診該当年齢の引き下げや県立学校新入学児童・生徒に対する心電図検査の実施等、疾病・異常の早期発見に努めた。

さらに、児童の健康状態に対応した運動のさせ方等の実践的研究を推進するため、福島市瀬上小学校、白河市立白河第一小学校を研究協力校に依頼し、児童の健康増進に努めるとともに児童のむし歯予防の実践的研究を推進するため、55～56年度の2年間にわたって、白河市立白河第三小学校を研究指定校として依頼し、児童のむし歯予防の推進に努めた。

3 学校安全の徹底

安全教育、管理の強化を図るため、保健安全指導者資質

向上講習会(前掲)、交通安全指導者講習会(県内3地区)、高校生二輪車安全運転実技講習会(41校2,514名)を開催した。

また、高校生の二輪車安全運転を推進するため学校訪問(10校)を実施するとともに高校生の二輪車安全運転の手引等の交通安全指導資料を作成して各高等学校に配布し指導の充実に努めた。

さらに、高校生の交通安全指導の効果的な進め方に関する実践的研究を推進するため、福島県立川俣高校を研究協力校に依頼し高校生の交通事故防止を図った。

4 学校給食の改善充実

完全給食の実施状況は、前年と比較して0.8ポイントの伸びで大きな変化はみられなかった。実施状況を児童、生徒数でみると小学校が96.9%で全国平均97.8%とほぼ同じであり、中学校は73.9%で全国平均57.0%を大きく上回った実施率となっている。

中学校の完全給食実施率は、小学校と比較し大きく下回っているため市町村、学校及びPTA等と連携を密にして、地域の特性に応じた完全給食の実施を積極的に推進していく必要がある。

米飯給食の実施状況は、県の米飯導入基本構想に基づき、昭和56年度を目途に週2回の米飯給食実施をめざし、関係機関と相互連携を密にして導入推進を図ってきた。その結果は前年に比較して実施率は5.7ポイントの伸びがみられ、小・中学校平均米飯給食実施率は、98.3%となっている。

給食費は、一食当たり県平均小学校186円76銭、中学校211円56銭で前年度と比較すると小学校で4.1%、中学校で0.4%の増額となっている。

なお、学校給食の適正な管理運営と改善充実及び給食関係職員の資質向上を図るため、給食主任研修会、栄養職員研修会、調理研修会等を開催し、それぞれ所期の目的達成に努めた。

また、学校給食用物資は安全にして良質なものを安定した価格で年間を通じて購入できるようにするとともに父兄負担の軽減を図る必要がある。このため県学校給食会では、常に適正な物資在庫の確保、供給に努めた。

学校給食において懸念される食中毒等の事故防止のため、衛生、安全管理の徹底を図るべく文書、研修会等で指導し衛生思想普及の強化に努めた。

5 第5回福島県学校体育・保健安全・給食研究大会

幼児・児童・生徒の健康増進と体力の向上をめざすとともに、学習指導の改善充実を図るため、学校体育、保健安全及び給食の調和のとれた指導等について総合的に研究を進めるため約800名の参加を得て、いわき市市民会館を主会場にして2日間の日程で開催し、所期の目的を達成した。